

ファームウェア アップデート ガイド

Crucial® m4 SSDファームウェアのリビジョン0309

[Boot from CD (CD起動)]のアップデート ガイド (Rev 0001、Rev 0002、Rev 0009からRev 0309へアップデート)

はじめに

本書には、起動可能なCDとISOイメージを使用して、Crucial m4 SSDのファームウェアをアップデートする方法を説明します。ISOイメージには、0309ファームウェア アップデートとDOS起動コードが含まれています。

警告: このアップデートは、Crucial m4 SSDのみで使用可能です。Crucial C300 SSDでは使用できません。

警告: どのファームウェア アップデートでも同じように、このアップデートを行う前に、必ず重要なファイル(およびパスワード)すべてをバックアップするかコピーすることを強くお勧めします。このファームウェア アップデート作業は、すべてお客様自身の責任において行ってください。正常に行われた場合、SSD上のシステム、あるいはユーザーデータが損失することはありませんが、ファームウェア作業が何らかの理由で中断されると、SSDは正常に動作しなくなる可能性があります。

アップデート方法

ファームウェア アップデートをダウンロードする

1. ファームウェアのダウンロード作業を始める前に、お使いのインターネット ブラウザ以外のプログラムはすべて閉じます。
2. Crucial SSDの部品番号に関連する、[boot from CD (CD起動)]のファームウェア アップデートを探します。
3. [Download(ダウンロード)]をクリックすると、ブラウザで[開く]、[保存]または[キャンセル]のいずれかを選択するよう求められます。[保存]を選択すると、お使いのシステムに、ISOイメージを含む.zipファイルがダウンロードされます。
4. CD書き込みソフトウェアを使用して、CDメディアにISOイメージ(.isoファイル)を書き込みます。

ファームウェア アップデート作業を始める前に、以下のステップを終了する

1. SSDをバックアップする

このファームウェア アップデート作業を始める前に、システムの完全バックアップを実施することを是非お勧めします。アップデートが(電力損失や何らかのハードウェアの不具合によって)中断された場合、SSDは正常に動作しなくなる可能性があります。

2. SSDをマザーボード ポート0~3に接続する

SSDがデスクトップ コンピュータ システム内にある場合、該当SSDがマザーボードの最初の4つのポート(通常0~3と記載)の1つに接続されていることを確認してください。システムによっては、稼働中のSSD接続には対応していないものがあります。必要であれば、SSDを新しいポートに接続してから、システムへの電源を切ります。

メモ: アップデート作業は、一部の差し込み式のHBA(ホスト バス アダプタ)または6.0 Gb/sのポートでは動作しません。SSDが正常に認識されない場合、下記の「ファームウェア アップデートを実行する」のステップ3を参照してください。

ほとんどのノートブック コンピュータでは、ポートの物理的変更は必要ありません。

3. コンセントを使用する

モバイルPCまたはデスクトップPCが、アップデート作業中にコンセントに接続されていることを確認します。アップデート作業時にバッテリー電源だけを使用することはお勧めできません。ファームウェア アップデート作業中は絶対に電源をコンセントから抜かないようにしてください。不完全な形で終了する場合があります、SSDが使用できなくなる可能性があります。

4. BIOS設定を変更する

以下の説明に従って、お使いのコンピュータのBIOS設定を変更する必要がある場合があります。設定変更の詳細は、コンピュータの取扱説明書を参照してください。

a. SSDのパスワードを無効にする/削除する

BIOSメニューを表示(通常は起動画面でDeleteキー、F2キー、F12キーを押して表示)し、SSDに関するあらゆるパスワードをすべて無効にします。パスワード保護機能により、ファームウェアのアップデート作業がブロックされてしまいます。

b. 起動順序を確認する

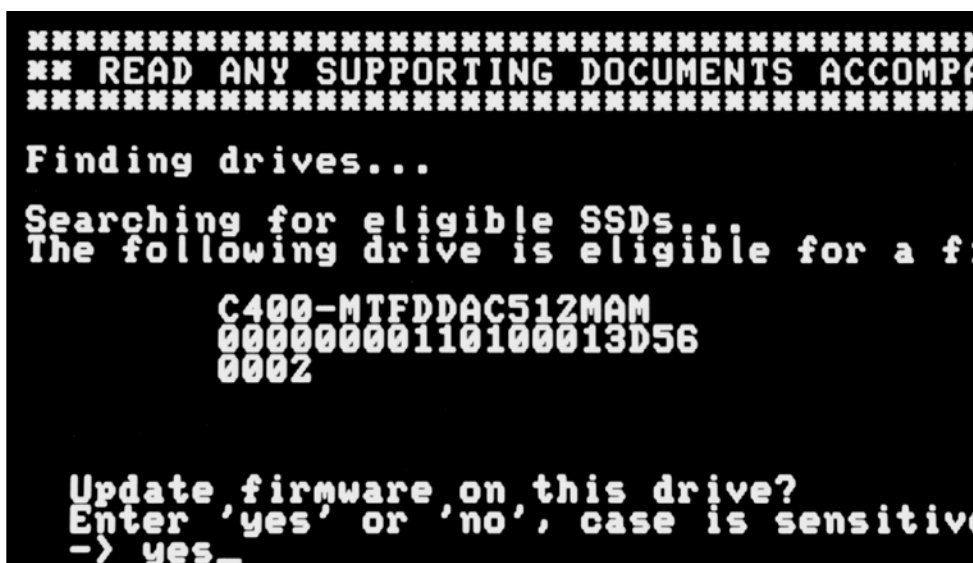
お使いのシステムがCD/DVDドライブから起動しない場合、BIOS設定を変更する必要があります。BIOSエディタで、ドライブの起動順序を確認します。大半のシステムでは、デフォルトでシステムドライブよりも先にCD-ROM/DVDドライブから起動します。BIOSのベンダーによっては、Boot Device Priority(起動デバイスの優先順位)、Boot Load Order(起動ロード順)、あるいはAdvanced BIOS Features(詳細BIOS機能)というオプションを探します。起動可能なメディアドライブが、OSが存在するドライブよりも先に起動することを確認します。

ファームウェア アップデートを実行する

1. ISOイメージが入った起動可能なCDメディアを挿入します。Macの場合、ステップ3に進みます。その他の場合、ステップ2に進みます。
2. 起動可能なメディアからシステムを再起動します。ファームウェア アップデートが自動的に始まります。ステップ4に進みます。
3. CD-ROMドライブにアクセスするには、カーソルが画面に表示されるまでOption(オプション)キーを押さえ続けます。アイコンが表示されたら、「Windows」という名前のCDを選択し、ステップ4に進みます。



4. 次の画面が表示されます。



5. ファームウェアをアップデートするよう求められたら、小文字で「yes」と入力すると、作業が始まります。次の画面が表示されます。

```
Update firmware on this drive?
Enter 'yes' or 'no', case is sensitive
-> yes
Updating firmware...
_
```

6. アップデートにかかる所要時間は、存在するユーザーデータ量によって異なります。SSDが新しい場合や空に近い場合、わずか数秒しかかかりません。ほぼ限界まで使用しているSSDの場合、アップデート ソフトウェアがユーザー データを保護するため、通常この作業に3~4分ほどかかることがあります。
7. 終了すると、次のメッセージが表示されます。

```
Update firmware on this drive?
Enter 'yes' or 'no', case is sensitive
-> yes
Updating firmware...
Current Firmware is: 0309
Finished.
A:\>_
```

8. **重要!!!**ファームウェアのリビジョンが表示されます。リビジョンが0309と表示されない場合、上記「ファームウェア アップデートを実行する」のステップ1から作業を繰り返してください。
9. ファームウェアのリビジョン番号が何か分からない場合、A:\>プロンプトで「dosmcli --verbose -d」と入力して確認することができます。最後に表示される行が、ファームウェアのリビジョンです。0309が表示されない場合、上記「ファームウェア アップデートを実行する」のステップ1から作業を繰り返してください。このコマンドでは、Crucial SSDだけでなく、システム上のATAドライブすべてが一覧表示されます。
10. 電源ボタンを押さえ続けて、システムの電源を切ります。必要であれば、SSDのケーブルを元のポートに戻します。
11. 電源を再度投入します。BIOS設定を再表示して、この作業の開始時に行ったBIOS設定を、元の設定に戻してください。
12. 作業はこれで完了です。